



高森幼稚園



高森中央小学校



高森中学校



高森中学校



高森高等学校

# 卒園・卒業おめでとーぶーいす



高森東中学校

3月、学校や保育所等では子どもたちが旅立ちのときを迎えました。

まだ寒さの残るなか、町内の保育所幼稚園や小中学校、高校で卒業式が執り行われました。静寂のなか式は進行し、会場では涙をぬぐう姿があらこちらでみられました。立派に成長した我が子の様子に涙をながす保護者も。新しい環境でも頑張ってください！

- 高森東保育園  
卒園式／3月27日 卒園児 3名
  - 高森保育園  
卒園式／3月25日 卒園児20名
  - 高森幼稚園  
卒園式／3月21日 卒園児25名
  - 高森中央小学校  
卒業式／3月24日 卒業生41名
  - 高森東小学校  
卒業式／3月24日 卒業生 4名
  - 高森中学校  
卒業式／3月13日 卒業生47名
  - 高森東中学校  
卒業式／3月13日 卒業生 7名
  - 高森高等学校  
卒業式／3月1日 卒業生32名
- ※ 色見保育園は卒園生0名でした。

祝卒業未来に向かって羽ばたけ

2月27日 金

## 「あか牛」のステーキランチ 町内小中学校の給食に登場



町内の小・中学校に普段学校給食では見られない「あか牛」のステーキランチが登場しました。これは、町が行っている「美しい農村再生支援事業」の食育の取り組みとして行ったものです。食事の前に、地元畜産農家からのビデオレターで登場した「あか牛」に思わず声を上げる子どもも。子どもたちは、阿蘇の美しい草原を守ること、命の大切さを学びました。

3月1日 日

## 今年も元気に出発進行 南阿蘇鉄道トロッコ列車出発式



毎年およそ5万人が利用する南阿蘇鉄道のトロッコ列車が今シーズンの運行を開始しました。

高森駅で行われた出発式には、雨のなか高森保育園児や保護者など約40名が参加。園児4人がくす玉を割り、上村昂太朗くん（高森・昭和）と古澤敬一高森駅長が出発を合図しました。トロッコ列車は、11月までの土・日・祝日と夏休み期間の毎日運行されます。

3月3日 火

## 全国児童才能開発コンテスト科学部門 昨年に続き受賞



高森中央小学校5年の岡本慧根さん（色見・井上）が、昨年に続き全国都道府県教育長協議会会長賞を受賞しました。これは、県科学展で最優秀賞を受賞し、県の推薦により出展されたもの。研究は、前回調査した動物のフンの分解過程で分かったフン虫の役割と重要性を踏まえ、11ヵ月間フン虫の観察と環境を計測。フン山に出現した14種類のフン虫の構造や生態を研究したものです。

## 町議会議員が自治功労者として表彰されました

3月9日 月



後藤英範議員（上色見・前原）が全国町村議会議長会自治功労賞を受賞し、3月定例議会の際に田上更生議長から伝達されました。

これは、全国町村議会議長会が町村議会議員として27年以上在職し地域の振興発展と住民福祉の向上に尽された功績が認められたものです。全国で182人、うち県内で5人が受賞しています。おめでとうございます。

## 高森保育園お別れバイキング給食 もう一度あの料理を

3月13日 金



この行事は、卒業する年長児へこれまで登場した給食料理の中で思い出に残っている料理をもう一度食べてもらおうと約20年前から続けられています。4人の給食の先生が手間ひまかけた唐揚げやエビフライなどが出されると嬉しそうにお皿に盛っていました。また、初めて出された塩鯖や芋煮など和風な料理もおいしそうに食べていました。

## 天草市と共同施策の実現を目指す 横軸連携の強化

3月19日 木

## 天草市と高森町の交流連携に関する協定



天草市役所で同市の中村五木市長と草村大成町長が更なる交流の促進に向け、連携した取り組みを行う協定を締結しました。それぞれの地域特性を活かし、観光、産業、文化、まちづくり、防災の5分野を検討。具体的には天草の魚介や阿蘇あか牛等の共同アンテナショップの開店や相互の防災支援などを計画。こうした協定は県内に例がなく、期待が寄せられます。

3月15日

## 新酒とふるさとの味まつり開催 早春の味に舌つづみ



2月14日から3月15日までの1ヵ月間開催された「新酒とふるさとの味まつり」。今年で27回目を迎え、多くの酒通の人が地元酒蔵の新酒を堪能しました。

最終日、雨模様のなかラストイベントが開幕。およそ3,000人が訪れました。観光交流センター一帯は傘を差しながら、新酒がなみなみとつがれた升に口を寄せる人々の光景があちこちで。また、町内の飲食店等が出店する販売ブースでは阿蘇あか牛の丸焼き、ヤマメの塩焼きや天ぷら、高森田楽などが目を引き、行列をつくりました。販売店の中には、酒粕を使ったスイーツやピッツァなどの販売も。酒粕もまた、この時期だけのもの！購入者は、かすかに残る酒粕の風味を楽しみながら味わっていました。ステージでは、交流を深めている天草市から市職員16名が来町し、牛深ハイヤを披露され、まつりを盛り上げました。また、恒例の「みそ詰め」イベントも行われ、大賑わいの1日となりました。

3月22日

## 町ボランティア交流フェスタ開催 初めての取り組み



社会福祉協議会や学校、福祉、産業分野の各団体からなる実行委員会の主催で初めて行われ、約130名が参加しました。これは、イベントを通して住民のボランティア活動への感心・理解を高め、福祉・環境・防災のまちづくり活動への参加を促すために実施されたものです。ボランティア活動報告や映画上映などが行われ、参加者の今後の活動に期待が高まります。